



新時代の
デジタルコミュニケーションを
創造する
印刷・広告業ネットワーク

Crowds Management Society

ポータルサイト広告の最新事情

2014年10月現在

ポータルサイト広告の種類

出店（出品）者だけが利用できる広告

Yahoo！ショッピングの広告

バナー広告、キーワード連動型広告、商品連動型広告、メール広告による、ストア出店者のみが出稿できる広告。広告出稿もストア構築ツール内で行う。2014年秋よりYahoo！プロモーション広告とも連動がスタート！こちらは広告管理ツールから出稿します。



<http://business.ec.yahoo.co.jp/shopping/archives/advertising.html>

<http://promotionalads.yahoo.co.jp/dr/shopping/index.html>

楽天市場の広告

楽天市場広告、楽天サーチワード広告による、出店者のみ利用できる広告。楽天RMSから広告出稿手続きを行う。



http://www.rakuten.ne.jp/gold/_ad/menu_market/main.htm

amazonの広告

2014年9月下旬から出品者向けの検索連動型広告「アマゾンスポンサープロダクト」が開始される予定だったが現段階で未公開の様様。



検索画面の最下段に広告枠を設置

<https://netshop.impress.co.jp/node/608>

出店（出品）者以外でも利用できる広告

楽天メディアの各種広告

楽天が運営する各種メディアのバナー広告、テキスト広告、ターゲティングメール広告、メール広告等は、楽天市場の出店者以外でも楽天グループのユーザーに対して多様な広告を配信することが出来ます。

<http://adsales.rakuten.co.jp/>



Yahoo！JAPAN マーケティングソリューション

バナー広告中心の「プレミアム広告」、検索連動型広告などを提供する「プロモーション広告」など。ユーザー属性による配信ターゲティングを強めています。

<http://marketing.yahoo.co.jp/>



Amazon media group

Amazon.co.jp内のトップページや各種商品一覧ページなどに表示できるバナー広告やテキスト広告。

<http://www.amazon.co.jp/b?ie=UTF8&node=2437587051>



出店者（出品者）の広告活用&テクニック

限られた予算で費用対効果を重視するなら

クリック課金広告で商品ブックマークを増やす。

特に、ポータルサイトがセール（楽天お買い物マラソン、Yahoo24時間お買い物リレー等）の2週間前くらいから、ユーザーの検索・ブックマークが増加するため、広告出稿金額を増加しておきます。

- Yahoo!ショッピングの場合：
キーワード連動型広告、商品連動型広告

- 楽天市場の場合：
楽天サーチワード広告

■商品連動型広告

アイテムマッチ：1クリック10円から
各カテゴリページの商品一覧ページ最上部（2枠）と下部（3枠）に掲載されるため、お客様の目にとまりやすく、よりストアへ誘導しやすい広告商品です。

■キーワード連動型広告

ストアのイチオシ!：1クリック10円（税込）から
お客様の検索したキーワードにひもづいて、自動的にYahoo!ショッピングの検索結果画面やカテゴリページなどに商品を表示させる費用対効果の期待できる広告です。

ポータルサイト内のSEO対策も平行して行う

ポータルサイトの検索結果順位で上位を狙うには以下の2つ。

- ①サジェスト機能で表示されるキーワードを登録のコピーと商品名に入れる。
特に楽天の場合、順位を上げたいキーワードはコピーではなく商品名に入れる。
- ②商品レビューを増やす。

効果測定を行う

広告クリックが注文に繋がったかを検証するため、広告をクリックした人だけがランディングできるユニークURLを作成します。

- Yahoo!ショッピングの場合：「調査用リンク」を作成すれば、ストアクリエイターProの「統計情報」から広告経由の売上や購買率なども確認できる。
https://www.storematch.jp/displayinfo/ad/ad_knowhow_advertisement.html
Yahooプロモーション広告と連動すれば、CV測定やYahoo!アクセス解析で分析可能。
- 楽天市場の場合：広告からしかアクセスできない商品ページを作り、アナログ的に検証することしかできない。
効果測定ツール「アドロボ」 <http://eczine.jp/article/detail/789>